

平成29年度 大和市文化芸術賞受賞者



「大和市文化芸術顕彰」とは、平成21年12月に制定した大和市文化芸術振興条例に基づき実施しているものです。毎年11月3日（文化の日）に優れた創造活動を行っている芸術家や大和の文化芸術の発展に貢献した人を表彰しています。

文化芸術賞

たけうち ほうせん
竹内 鳳仙 氏（書家）

「大和市文化祭一般公募展・書の部」審査員を通算22年務められました。毎日書道展の毎日賞、秀作賞を受賞。同展の審査員を9回務め、平成27年に毎日書道展参与会員、同29年に名誉会員へ昇格。（一財）毎日書道会の総務や参事、（公社）全日本書道連盟評議員、（公財）独立書人団参事を歴任。大和市書道連盟では顧問を務めるなど、市内外の書道家のけん引役として活躍しています。



文化芸術振興賞

とみざわ ゆたか
富澤 裕 氏（作曲家・指揮者）

指揮を野口政男、小林研一郎の両氏に師事、作曲を西崎嘉太郎、青島広志の両氏に師事。アニメーション映画「天空の城ラピュタ」主題歌「君をのせて」の合唱曲の編曲や数多くの合唱曲の作曲を手掛けています。全国の小学校で合唱指導をしており、母校の大和市立深見小学校をはじめ、100校以上を訪問。音楽の楽しさを子どもたちに伝えることに大きく貢献しています。



文化芸術未来賞

はぎわら ちよ
萩原 千代 氏（ピアニスト）

ショパンの愛弟子カール・フィルチュ研究の日本での第一人者。ルーマニアで同氏の研究を重ね、昨年6月にフィルチュの日本初盤となるCD「ショパンの愛弟子 若き天才作曲家 カール・フィルチュの世界」を発表。そのCDは大きな話題となり、今年4月、ビルボード・ジャパン・トップ・クラシカル・アルバム部門で第1位を獲得しました。市内では、親子コンサートを継続して開催するなど、市の文化芸術振興に寄与しています。



- ◆「大和市文化芸術顕彰」とは、平成21年12月に制定した大和市文化芸術振興条例に基づき実施しているものです。11月3日（文化の日）に市内を拠点に優れた創造活動を行っている芸術家や大和の文化芸術の発展に貢献した人を対象にしています。

文化芸術三賞

- 〈文化芸術賞〉 文化芸術の分野における活躍が顕著で、その功績を称えることが、市の文化芸術振興に寄与するものと認められる人（または団体）に贈られます。
- 〈文化芸術振興賞〉 市の文化芸術振興に長きにわたって貢献し、その功績を称える必要があると認められる人（または団体）に贈られます。
- 〈文化芸術未来賞〉 未来の活躍が期待され、その活動を称えることが、受賞者の活動を後押しし、ひいては市の文化芸術振興に貢献すると期待できる人（または団体）に贈られます。